

### 第3次小金井市子ども読書活動推進計画 進捗状況

※【事業実績自己評価】欄における評価基準について

- S 計画以上にできた
- A 計画どおりにできた
- B 概ね計画どおりにできた(事業目標をある程度達成したが、今後の改善、検討を要する)
- C できなかった

No	取組	施策項目	取組内容	所管部署	平成28年度事業実績	平成29年度事業実績回答	平成30年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由 及び 令和元年度以降の方向性、課題等	
第3章										
1	(1) 乳幼児を育てる家庭への支援	ブックスタート事業の継続	読み聞かせや絵本を媒体にした親子のコミュニケーションの大切さを啓発するためにブックスタート事業を継続します。	健康課	ブックスタート事業で配付した本の冊数 →995冊	ブックスタート事業で配付した本の冊数 →1028冊	ブックスタート事業で配付した本の冊数 →1030冊	A	概ね計画通りの実施ができた。また、継続して絵本を媒介とした親子のコミュニケーションの大切さを啓発していく。	
2		情報提供方法の充実	乳幼児のおはなし会を利用したいと考えている保護者の元に情報が届くよう、更なる広報に努めていきます。	図書館	東分室のおはなし会のPR方法 →市報、HP掲載、チラシ配布	東分室のおはなし会のPR方法 →市報、HP、Twitter、チラシ、ポスター、カウンターでの声掛け	東分室のおはなし会のPR方法 →市報、HP、Twitter、チラシ、ポスター、カウンターでの声掛け	B	東分室のおはなし会は、平成29年度10回開催146人が参加、平成30年度10回開催123人が参加。おはなし会の実施回数は、同数であるが、参加者数が減少した。令和元年度も引き続き、広報に努める。	
3		(2) 親子で遊べる広場での読書活動への支援	図書コーナーの設置	親子あそびひろばに図書コーナーを設置し、年齢・季節を考慮した絵本を配置します。	子育て支援課	絵本の冊数 →640冊	絵本の冊数 →659冊	絵本の冊数 →691冊	A	例年通り購入した。他に数か所からの寄贈を受け、合計32冊の増となった。令和元年度については、購入にあたり利用者や読み聞かせ等実施者の助言も参考にする。
4			読み聞かせ事業の実施	親子あそびひろばで絵本や紙芝居の読み聞かせ等を行い、親子のコミュニケーションの充実を図ります。	子育て支援課	事業の実施回数 →(実施回数)31回 (参加親子)694人	事業の実施回数 →(実施回数)34回(参加者数)952人	事業の実施回数 →(実施回数)41回(参加者数)930人	A	参加者数は前回とほぼ同様となったが、誕生会や父親のイベント等で職員による読み聞かせを実施し回数は大きく増えた。親子でゆっくり参加できる機会を提供した。
5	(1) 乳幼児のいる家庭、乳幼児に関わる人への情報提供	成長に合わせた絵本や紙芝居等の紹介	探している絵本や紙芝居等の情報提供ができるようにサービスの充実に努めます。	図書館	児童書の購入冊数 →7,631冊	児童書の購入冊数 →7,090冊	児童書の購入冊数 →7,493冊	S	児童書の購入冊数が増加した。また、以下のことを実施した。大型絵本について、全館で、大型絵本の書誌に(大型絵本)を入力して、Web・OPACからも探しやすいようにした。本館では、児童室書架の壊れやすくなっている部分(特に絵本書架)について、強化した。また、サイン類を新しく作成し直して、探しやすい書架にした。東分室では、文学、文庫以外の900番台の児童書を分類番号順になるよう書架に並べること、日本文学と外国文学が同じ段の棚に混ざらないようにし、配架場所をわかりやすくした。また、青い鳥文庫などの文庫の冊数が増えたため、出版社ごとに分けて並べた。緑分室では、絵本及び文学のサイン類について、色や字体を変えるなどして、より見やすくなるように工夫した。また、子どもの安全面を考慮し、児童コーナーに設置してある回転式書棚を除去した。貫井北分室では、昔話の紙芝居にグリーンシールを貼って別置、30cmくらいの大きな本を大型絵本コーナーへ別置した。	
6		乳児向け推薦図書パンフレットの作成	子育て中の保護者等への情報提供の充実に努めます。	図書館	「赤ちゃん向け絵本リスト」の印刷部数 →3,000部	「赤ちゃん向け絵本リスト」の印刷部数 →【貫井北分室】2,000部	「赤ちゃん向け絵本リスト」の印刷部数 →【貫井北分室】0部	A	平成29年度に印刷した在庫で、平成30年度も、必要部数が間に合った。令和元年度も状況にあわせて「赤ちゃん向け絵本リスト」を印刷し、図書館各館で広報に努め、情報提供の充実に努める。	
7		関係機関への情報発信の見直し	情報発信や関係する方々への情報提供方法を検討し、周知活動の拡充に努めます。	図書館	関係機関へのおはなし会のチラシ配布枚数 →【本館】80枚 (リサイクル図書配布時の配布枚数)	関係機関へのおはなし会のチラシ配布枚数 →8,330枚	関係機関へのおはなし会のチラシ配布枚数 →8,440枚	A	平成29年度よりも配布枚数が増えた。令和元年度も引き続き、周知活動の拡充に努める。	

No	取組	施策項目	取組内容	所管部署	平成28年度事業実績	平成29年度事業実績回答	平成30年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び令和元年度以降の方向性、課題等
8	2 乳幼児	(2) 図書館へ行きやすい環境の整備	子育て世代への支援	図書館	乳幼児がいても親が安心して行きやすい図書館設備 →【本館】赤ちゃんコーナー	図書館内で実施する講座を利用した参加者のうち保育を利用した人数 →38人	図書館内で実施する講座を利用した参加者のうち保育を利用した人数 →29人	A	平成29年度の本館での「子どもと読書に関する講座」は、乳幼児対象の講座が3回だったため、3回ともに、参加者全員が保育を利用した。平成30年度の本館での「子どもと読書に関する講座」は、乳幼児対象の講座が1回だったため、1回のみ、参加者全員が保育を利用した。その他の講座の開催が、乳幼児対象ではなかったため、保育利用が減った。しかし、本館では、職員間で赤ちゃんのおはなし会の研修を行い、平成29年度から「とどけっこうのおへや」という0歳から2歳までのおはなし会を試行的に開始し、平成30年度は、7回開催することが出来た。 令和元年度も引き続き、乳幼児がいても安心して行きやすい環境の整備を検討する。
9			書架の見直し	図書館	市民サービス向上に向けて、限られたスペースを有効に活用します。 →94回	テーマ図書の実施回数 →103回	テーマ図書の実施回数 →109回	A	平成30年度は季節ごとのテーマ展示の他、オリンピック・パラリンピックをテーマにした展示、子どもと読書に関する講座のテーマにあわせた展示など、各館工夫を凝らしたテーマ展示を実施した。また、全館で平成30年度中に実施したテーマ図書の内容を共有した。 令和元年度も引き続き、限られたスペースを有効に活用する。
10			図書館行事の周知活動の充実	図書館	図書館で実施している行事について、図書館の中での掲示だけでなく、ホームページなどの活用により、幅広く周知活動を行い、利用者が増えるように努めます。 →128回	図書館行事のHP更新回数 →93回	図書館行事のHP更新回数 →126回	A	平成30年度は、図書館行事のお知らせや報告のHP更新回数を増やすようにしたため、更新回数が増加した。 令和元年度も、幅広く周知活動を行い、利用者が増えるように努める。
11			関係各課との連携	図書館	子ども読書活動推進計画の作成に携わっている関係各課の行事等でも図書に触れる機会を作ることができるように、関係各課との連携を図ります。 →1,000部	ブックスタート事業用に配付した「赤ちゃん向け絵本リスト」送付部数 →【貫井北分室】0部	ブックスタート事業用に配付した「赤ちゃん向け絵本リスト」送付部数 →【貫井北分室】0部	A	平成28年度に送付した在庫で、平成30年度も、必要部数が間に合った。 令和元年度も状況にあわせて「赤ちゃん向け絵本リスト」を送付し、関係各課との連携を図る。
12			(3) 絵本や紙芝居等の充実	図書館	絵本や紙芝居等の購入・寄贈・リサイクル等の活用 関係機関の発信する情報等を収集し、乳児向けの絵本や紙芝居等が充実できるように努めます。 →134枚	紙芝居の購入数 →154枚	紙芝居の購入数 →147枚	A	平成30年度も平成29年度と同数程度、紙芝居を購入した。 令和元年度も引き続き、書架の状態を見ながら、紙芝居の充実に努める。
13	おはなし会の充実	図書館	乳幼児に読み聞かせる絵本や紙芝居の紹介だけでなく、わらべ歌や手遊びなどについても周知できるように、おはなし会の内容の充実を図ります。 →4回	図書館職員がおはなし会に関する外部の児童サービス研修に参加した回数 →14回	図書館職員がおはなし会に関する外部の児童サービス研修に参加した回数 →22回	A	平成30年度も「多摩地域児童サービス研究会」等の外部の研修に参加した。 令和元年度も引き続き、外部の研修に積極的に参加し、おはなし会の内容の充実を図る。		
14	関係団体との連携	図書館	関係団体が実施するおはなし会がスムーズに行えるように、関係団体と連携を取り、周知方法の見直しや団体貸出サービス等の充実に向けた検討を行います。 →1回	新規のボランティア団体の受け入れ体制を整えるために、職員間でおはなし会の研修を図書館内で開催した回数 →4回	新規のボランティア団体の受け入れ体制を整えるために、職員間でおはなし会の研修を図書館内で開催した回数 →6回	S	平成30年度は、本館では、職員による赤ちゃんのおはなし会を5回実施した。赤ちゃんのおはなし会をするために、おはなし会の練習をした他、外部の講師に講座を実施いただいた際に、助言をいただいた。 令和元年度も引き続き、おはなし会や団体貸出サービス等の充実に向けた検討を行う。		



No	取組	施策項目	取組内容	所管部署	平成28年度事業実績	平成29年度事業実績回答	平成30年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び令和元年度以降の方向性、課題等
15	(4) 図書館等での定期的なおはなし会の実施	地域の特長にあったおはなし会の検討	対象となる子どもの年齢や地域の状況を検討し、地域にあったおはなし会ができるように検討を行います。	図書館	各館ごとのおはなし会の対象年齢とおはなし会回数 →【本館】(対象年齢)4歳以上(回数)45回 【東分室】(対象年齢)(乳児)0歳から2歳程度(回数)4回、(幼児)3歳以上の未就学児(回数)5回 【緑分室】(対象年齢)3歳以上小学校3年生程度(回数)12回 【貫井北分室】(対象年齢)4歳以上小学校2年生程度(回数)37回	各館ごとのおはなし会の対象年齢とおはなし会回数 →【本館】(対象年齢)4歳以上(回数)31回 【東分室】(対象年齢)(乳児)0歳から2歳程度(回数)4回(幼児)3歳以上の未就学児(回数)6回 【緑分室】(対象年齢)3歳以上小学校3年生程度(回数)12回 【貫井北分室】(対象年齢)4歳以上小学校2年生程度(回数)35回	各館ごとのおはなし会の対象年齢とおはなし会回数 →【本館】(対象年齢)(ととけっこうのおへや)0歳から2歳まで(回数)7回(すとーりーたいむ)3歳以上(回数)48回 【東分室】(対象年齢)(乳児)0歳から2歳程度(回数)4回(幼児)3歳以上の未就学児(回数)6回 【緑分室】(対象年齢)3歳以上小学校3年生程度(回数)12回 【貫井北分室】(対象年齢)4歳以上小学校2年生程度(回数)35回	A	平成29年度は、図書館本館が9月から12月までエアコン工事に伴う休館により、おはなし会の回数が減ったが、平成30年度は、工事による休館がなかったため、おはなし会の回数が増加した。また、平成30年度は、「ととけっこうのおへや」という0歳から2歳までのおはなし会を7回開催した。令和元年度も引き続き、地域にあったおはなし会ができるように検討を行う。
16		おはなし会の情報整理	おはなし会の活動状況の情報リスト、マップ等を作り、情報提供システムの構築を図ります。	図書館	「たのしいとしょかん」の印刷枚数 →500枚 「読み聞かせ絵本リスト」の印刷枚数 →500枚	「たのしいとしょかん」の印刷枚数 →500枚 「読み聞かせ絵本リスト」の印刷枚数 →500枚	「たのしいとしょかん」の印刷枚数 →500枚 「読み聞かせ絵本リスト」の印刷枚数 →500枚	A	平成29年度から過去3年間本館と緑分室で実施したおはなし会のうち、特に子ども達に人気のあった本の中から図書館職員が選んだ本を掲載した「読み聞かせ絵本リスト」の印刷を開始した。令和元年度も「読み聞かせ絵本リスト」の見直しを行い、引き続き、情報提供システムの構築を図る。
17		(5) 読み聞かせ講座の実施	関係団体への支援	関係団体の方の活動が更に充実するよう、講習会・講座・研修等の実施により支援します。	図書館	図書館が関係団体に後援している事業の回数 →4回	図書館が関係団体に後援している事業の回数 →3回	図書館が関係団体に後援している事業の回数 →3回	A
18	(6) 外国語を母語とする子供、帰国した児童への読書活動の支援	外国語図書の充実	外国語図書の充実を図ります。	図書館	外国語図書の購入数 →28冊	外国語図書の購入数 →79冊	外国語図書の購入数 →88冊	A	平成30年度は、東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、英語を中心に外国語絵本の収集を行ったため、購入冊数が増加した。また、貫井北分室では、YA世代向けの外国語文学を新規に購入した。令和元年度も引き続き、外国語図書の充実を図る。
19	3 (1) 園児への読書活動への支援	絵本に親しめる環境づくり	絵本に親しみを持つように公立保育園の園内各所に名作絵本の登場人物の手作り人形を展示し、絵本に親しみの持てる環境づくりに努めます。	保育課	絵本の登場人物の手作り人形の展示園及び実施箇所数 →くりのみ保育園 2箇所 ・わかたけ保育園 1箇所 ・小金井保育園 1箇所 ・さくら保育園 1箇所 ・けやき保育園 8箇所	絵本の登場人物の手作り人形の展示園及び実施箇所数 →くりのみ保育園 2箇所 (わかたけ保育園) 1箇所 (小金井保育園) 1箇所 (さくら保育園) 1箇所 (けやき保育園) 8箇所	絵本の登場人物の手作り人形の展示園及び実施箇所数 →くりのみ保育園 3箇所 (わかたけ保育園) 1箇所 (小金井保育園) 1箇所 (さくら保育園) 1箇所 (けやき保育園) 8箇所	A	全園において絵本の登場人物の手作り人形を展示し、絵本に親しみの持てる環境づくりができた。令和元年度も平成30年度と同数程度、絵本の登場人物の手作り人形を展示する。
20		乳幼児	関係団体との情報交換	私立保育園や幼稚園等における読書環境づくりについて、定期的開催している園長会等で情報交換等を行います。	保育課	園長会の開催数 →12回	園長会の開催数 →12回	園長会の開催数 →12回	A
21	(2) 保育園での絵本や紙芝居の充実	絵本や紙芝居の購入・寄贈・リサイクル等の活用	絵本や紙芝居に関わる機関のおすすめ本リスト等を参考にして購入を検討します。	保育課	購入冊数 →268冊	購入冊数 →332冊	購入冊数 →291冊	A	全園において在庫状況を鑑みながら絵本を購入することができ、絵本の充実が図れた。
22	(3) 絵本に触れる環境づくり	園児が絵本に触れる工夫	乳幼児の手の届くところに絵本を置き、絵本に触れられる環境の充実に努めます。	保育課	各園でのクラスに配置している絵本の冊数 →くりのみ保育園 100冊 ・わかたけ保育園 180冊 ・小金井保育園 207冊 ・さくら保育園 170冊 ・けやき保育園 112冊	各園でのクラスに配置している絵本の冊数 →くりのみ保育園) 200冊 (わかたけ保育園) 160冊 (小金井保育園) 177冊 (さくら保育園) 135冊 (けやき保育園) 150冊	各園でのクラスに配置している絵本の冊数 →くりのみ保育園) 200冊 (わかたけ保育園) 150冊 (小金井保育園) 216冊 (さくら保育園) 151冊 (けやき保育園) 150冊	A	全園において各クラスに絵本を設置し、絵本に触れられる環境の充実に努めた。令和元年度以降も各クラスに絵本を配置し、充実を図る。

No	取組	施策項目	取組内容	所管部署	平成28年度事業実績	平成29年度事業実績回答	平成30年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び令和元年度以降の方向性、課題等	
23	3	家庭への情報提供	家庭で読むのに適した本の紹介を行うなど、家庭での図書活動の充実を支援します。	保育課	おたのしみ会でプレゼントした絵本の冊数 →567冊	おたのしみ会でプレゼントした絵本の冊数 →557冊	おたのしみ会でプレゼントした絵本の冊数 →460冊	A	おたのしみ会で絵本をプレゼントし、家庭での図書活動の充実を図れた。平成30年度では絵本ではなくおもちゃ(独楽)を選択したクラスもあったため、冊数は前年比減となった。	
24		絵本の貸出	幼児クラスの園児へ、保育園所蔵の絵本の貸出を行っていきます。	保育課	絵本の貸出回数 →11,583回	絵本の貸出回数 →10,901回	絵本の貸出回数 →8,632回	A	保育園所蔵の絵本の貸出を行い、家庭での読書活動の支援ができた。冊数は前年比減だが、降園時に園内で絵本を読んで帰る子どもも多かった。令和元年度以降も同様に希望者への絵本の貸し出しを行い、更なる読書活動の充実を図る。	
25		(5) 絵本の読み聞かせ	絵本や紙芝居を通した保育活動の充実	職員間での情報交換により、絵本や紙芝居を活用した保育活動の充実を目指します。	保育課	絵本にかかる職員研修回数 →2回/園	絵本にかかる職員研修回数 →2回/園	絵本にかかる職員研修回数 →2回/園	A	職員会議等で職員間の情報共有を行い、絵本や紙芝居を活用した保育活動の充実を促した。令和元年度以降も情報交換を継続して行う。
26	小学生・中学生	(1) 朝読書や各教科等における読書活動等の工夫	読書機会の創出	本に親しむ習慣や読書時間の確保を行い、小学生・中学生が本に触れて読書の楽しさを実感する機会の充実を目指します。	指導室	朝読書を実施した校数及び読書週間を行った校数 →朝読書12校で実施 読書週間・読書旬間を14校で実施	朝読書を実施した校数及び読書週間を行った校数 →(朝読書)14校で実施 (読書週間・読書旬間)14校で実施	朝読書を実施した校数及び読書週間を行った校数 →(朝読書)14校で実施 (読書週間・読書旬間)14校で実施	A	朝読書を実施した校数及び読書週間を行った校数については、計画通り全14校で実施することができたため、A評価とした。引き続き、各校にて、朝読書及び読書週間を行う。
27		(2) 読書活動推進計画の充実	充実した読書活動推進計画の作成	年間指導計画に位置づけ、前年度の取組に対する課題を改善した読書活動推進計画を作成することにより、充実した読書活動ができるようになります。	指導室	読書活動推進計画策定数 →全14校で作成	読書活動推進計画策定数 →全14校で作成	読書活動推進計画策定数 →全14校で作成	A	読書活動推進計画策定については、計画通り、全14校で作成しているため、A評価とした。今後も、全校において、読書活動推進計画を策定する。
28		(3) 読書活動事例の共有	読書活動事例等に関する情報の共有	各学校が情報交換を行い、児童・生徒の読書経験や感想、各学校の実践事例等を家庭や地域等にも周知していきます。	指導室	学校図書館担当者会の開催回数 →年2回	学校図書館担当者会の開催回数 →年2回	学校図書館担当者会の開催回数 →年2回	A	学校図書館担当者会の開催回数については、年2回、学校図書館担当者会を開催するなど、昨年度と同程度開催することができた。次年度以降も引き続き開催する。
29			読書活動の充実	各学校が情報交換を行い、自校においても実践できる読書活動を見つけ、読書活動の充実を努めています。	指導室	昨年度からの工夫した読書活動を実施した取組 →昨年度に引き続き、中学校において、「100冊の本」リストを作成して全生徒に配布したことで、読書活動の充実を図った。小学校では、本に出てくる調理メニューを紹介し、実際に給食として食べた。	昨年度からの工夫した読書活動を実施した取組 →昨年度に引き続き、中学校において、「100冊の本」リストを作成して全生徒に配布したことで、読書活動の充実を図った。小学校では、本に出てきた料理を給食の献立にした。図書委員による本の紹介活動を行う小・中学校がある。	昨年度からの工夫した読書活動を実施した取組 →中学校において、「100冊の本」リストを作成して全生徒に配布したことで、読書活動の充実を図った。小学校において、本に出てきた料理を給食の献立にした。図書委員による本の紹介活動を行う小・中学校がある。	A	工夫した読書活動を実施した取組として、昨年度に引き続き、各校が工夫した取組を実施したことからA評価とした。引き続き、各校の工夫した取組を推進していく。
30		(4) 読書感想文コンクールへの参加	読書感想コンクールの参加者の増加	応募する参加者を増やし、表彰される児童・生徒を増やします。	指導室	読書感想文コンクール参加者数及び表彰者数 参加者1,644人 →・最優秀・優秀賞表彰者 13人 ・入選50人、佳作129人(入選・佳作は人数増)	読書感想文コンクール参加者数及び表彰者数 →(参加者)1666人 (最優秀・優秀賞表彰者)13人(入選)58人(佳作)116人	読書感想文コンクール参加者数及び表彰者数 →(参加者)1565人 (最優秀・優秀賞表彰者)15人(入選)50人(佳作)118人	A	読書感想文コンクール参加者数及び表彰者数については、昨年度とほぼ同じくらいの参加者があり、A評価とした。引き続き、読書感想文コンクール参加を積極的に募集する。
31		(5) 地域との連携	充実した読書活動の実施	ブックトークや読み聞かせ、図書整理や図書修理等のボランティア活動に、保護者や地域の人が協力できる働きかけます。	指導室	ボランティア活動で実施した取組 →ブックトークや朝読書での読み聞かせ、図書整理や図書室の掲示物等の作成に、保護者や地域の人がボランティアとして参加した。	ボランティア活動で実施した取組 →ブックトークや朝読書での読み聞かせ、図書整理や図書室の掲示物等の作成に、保護者や地域の人がボランティアとして参加した。	ボランティア活動で実施した取組 →ブックトークや朝読書での読み聞かせ、図書整理や図書室の掲示物等の作成に、保護者や地域の人がボランティアとして参加した。	A	ボランティア活動で実施した取組として、ブックトークや朝読書での読み聞かせ、図書整理や図書室の掲示物等の作成等、計画通りに実施できたため、A評価とした。また、保護者や地域の人がボランティアとして参加した。引き続き、地域の人、ボランティア等の参加により充実した読書活動を推進する。
32	(6) 学校図書館の整備	学校図書館補助員の拡充	学校図書館補助員の配置している日数が拡充されるように検討します。	指導室	配置日数 →全14校において、週2日/1校	配置日数 →全14校において、週2日/1校	配置日数 →全14校において、週2日/1校	A	配置日数については、全14校において、週2日/1校として配置できているので、A評価とした。次年度も同様の配置日数を確保していく。	



No	取組	施策項目	取組内容	所管部署	平成28年度事業実績	平成29年度事業実績回答	平成30年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由 及び 令和元年度以降の方向性、課題等
33	(7) 学校図書館の充実	図書に興味を持がもてる工夫	蔵書の充実を図るとともに、配架の工夫や推薦図書コーナーの設置等を行います。	学務課・指導室	学校図書予算額 又は、決算額・購入冊数 推薦図書コーナー設置校数 →(学校図書予算額) 7,027,000円 (決算額) 7,021,688円 (購入冊数) 4,798冊 (推薦図書コーナー設置校数) 14校	学校図書予算額 又は、決算額・購入冊数 推薦図書コーナー設置校数 →(学校図書予算額) 7,033,000円 (決算額) 7,343,970円 (購入冊数) 4,682冊 (推薦図書コーナー設置校数) 14校	学校図書予算額 又は、決算額・購入冊数 推薦図書コーナー設置校数 →(学校図書予算額) 6,969,000円 (決算額) 7,223,833円 (購入冊数) 4,298冊 (推薦図書コーナー設置校数) 14校	A	昨年度と比較すると決算額・購入冊数ともに微減という結果となった。他方、児童・生徒数に対する図書の充足率は殆どの学校で100%を上回っており、蔵書数も昨年度比で1500冊弱の増加となっている(172,768冊→174,216冊)。このため評価はAとしている。今後は推薦図書コーナーの更なる充実や購入済図書の更新などを含めたさらなる図書の量・質の充実に努めて参りたい。
34	(1) 学校の読書活動支援	図書の充実	各学校等が必要とする図書の貸出や充実に努めていきます。	図書館	学級文庫利用団体の団体数と団体貸出冊数 →(団体数) 94団体(団体貸出冊数) 22,652冊	学級文庫利用団体の団体数と団体貸出冊数 →(団体数) 94団体(団体貸出冊数) 22,252冊	学級文庫利用団体の団体数と団体貸出冊数 →(団体数) 103団体(団体貸出冊数) 23,141冊	A	平成30年度2学期から、小学校1年生向け団体貸出パックを作成し、貸出を行った。2学期に用意した9パック全てが貸出されたため、3学期は追加で12パック作成し、貸出を行った。また、団体貸出サービスに関して以下のことを実施した。①図書館HP内に団体貸出用のページを作成②市立中学校へアンケートを実施③学級文庫の電話受付を可能と変更 令和元年度は学校からの要望や、人気本、児童に読んでほしい本などを入れた、小学校全学年分のパックを作成し、団体貸出サービスの充実に努める。
35		学校等への訪問	各学校だけでなく関係施設への出前での読み聞かせやブックトークを検討します。	図書館	学校訪問の実施施設数と実施回数及びその他施設の実施施設数と実施回数 →(学校訪問の実施施設数) 9校 (学校訪問の実施回数) 9回 (その他施設の実施施設数) 1施設 (その他施設の実施回数) 2回	学校訪問の実施施設数と実施回数及びその他施設の実施施設数と実施回数 →(学校訪問の実施施設数) 9校 (学校訪問の実施回数) 9回 (その他施設の実施施設数) 1施設 (その他施設の実施回数) 6回	学校訪問の実施施設数と実施回数及びその他施設の実施施設数と実施回数 →(学校訪問の実施施設数) 9校 (学校訪問の実施回数) 9回 (その他施設の実施施設数) 10施設 (その他施設の実施回数) 13回	S	平成30年度は本館では中高生対象と小学生と小学生の保護者対象の講座を実施した関係から、市内の小学校、中学校、高校を訪問し、うち6校は学校図書室の見学を行った。緑分室では、児童発達支援センターを4回訪問し、読み聞かせを行っている。令和元年度も引き続き、各学校だけでなく関係施設への出前での読み聞かせやブックトークを検討する。
36		関係各課との連携	関係する施設への訪問や会議等へ参加し、図書に触れる機会を作ることができるように、関係各課との連携を図ります。	図書館	関係機関との打合せ回数 →1回(市教研との交流会)	関係機関との打合せ回数 →4回(市教研との交流会1回、小金井第一中学校3回)	関係機関との打合せ回数 →10回(学校読書推進委員会1回、市教研1回、学校図書室司書7回、緑小学校1回)	A	新しく学校読書推進委員会と学校図書室司書との交流会に参加することが出来た。団体貸出パックや調べ学習について、意見交換をすることができたため、引き続き交流の機会が持てるよう、関係機関と連携を図る。
37	小学生・中学生 (2) 学校図書館との連携	学校図書館の充実への支援	学校図書館が充実できるように、情報交換を行い、また、学校からの質問や相談(レファレンス)に対応するなど、学校図書館が充実できるように支援していきます。	図書館	学校図書館向け講座回数、調べ学習の実施回数、図書館見学の実施回数 →(学校図書館向け講座) 2回 (本館)本の修理講習会 (貫井北分室)楽しいおはなし会にするためのセカンドステップ講座 (調べ学習) 11回 (図書館見学) 8回	学校図書館向け講座回数、調べ学習の実施回数、学校から市立図書館へ見学を実施した回数、学校図書館を市立図書館職員が見学した回数 (学校図書館向け講座) 1回 →【本館】本の修理講習会(調べ学習) 6回 (学校から市立図書館へ見学を実施した回数) 6回 (学校図書館を市立図書館職員が見学した回数) 9回	学校図書館向け講座回数、学校図書室司書との交流会の実施回数、調べ学習の実施回数、学校から市立図書館へ見学を実施した回数、学校図書館を市立図書館職員が見学した回数 (学校図書館向け講座) 1回 (学校図書室司書との交流会の実施回数) 7回 →【本館】本の修理講習会(調べ学習) 1回 (学校から市立図書館へ見学を実施した回数) 6回 (学校図書館を市立図書館職員が見学した回数) 8回	A	前年度に比べ、全体的な回数は減少したが、本館では中高生対象と小学生と小学生の保護者対象講座を実施した関係から市内の小学校、中学校、高校の学校図書室を見学することができた。また、平成30年度は、学校図書室司書との交流会も実施した。引き続き、調べ学習の対応など、改善できる点がないか検討を行い、学校図書館が充実できるように引き続き支援する。

No	取組	施策項目	取組内容	所管部署	平成28年度事業実績	平成29年度事業実績回答	平成30年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び令和元年度以降の方向性、課題等
38	(1) 図書館へ行きやすい環境の整備	行事の情報提供	読書週間に行われる各種行事の情報を学校に提供するとともに、子どもや保護者、教職員の参加を促します。	図書館	一年間に実施した学校への情報提供回数 →33回	一年間に実施した学校への情報提供回数 →33回	一年間に実施した学校への情報提供回数 →45回	S	本館では、中高生対象と小学生と小学生の保護者対象講座を実施したため、市立小中学校9校と、市内小学校、中学校、高校全22校に講座のチラシを配布した。令和元年度も引き続き子どもや保護者、教職員の参加を促します。
39		図書館に来るきっかけ作り	小学生・中学生が参加できるような行事を実施し、「子ども読書の日」、読書週間を周知し、図書館に来るきっかけ作りを検討します。	図書館	読書週間に実施しているテーマ図書の内容と冊数 (読書週間に実施しているテーマ図書の内容) →【本館】本・図書館 【緑分室】こどもの日関連の絵本 【貫井北分室】こんな本よんだよ! (読書週間に実施しているテーマ図書の冊数) 【本館】50冊 【緑分室】50冊 【貫井北分室】24冊	読書週間に実施しているテーマ図書の内容と冊数 (読書週間に実施しているテーマ図書の内容) →【本館】おはなしかいにきてね 【緑分室】①読み聞かせ絵本リスト②こどもの日関連 【貫井北分室】こんな本よんだよ! (読書週間に実施しているテーマ図書の冊数) 【本館】99冊 【緑分室】116冊 【貫井北分室】約40冊	読書週間に実施しているテーマ図書の内容と冊数 (読書週間に実施しているテーマ図書の内容) →【本館】おはなしかいにきてね 【東分室】本だいき 【緑分室】①読み聞かせ絵本リスト②こどもの日関連 【貫井北分室】ほんがすき としょかんがすき (読書週間に実施しているテーマ図書の冊数) 【本館】100冊 【東分室】43冊 【緑分室】120冊 【貫井北分室】78冊	A	前年度に引き続き、「子ども読書の日」にあわせて、「読み聞かせ絵本リスト」の配布を全館で実施し、本館、緑分室では、「読み聞かせ絵本リスト」の絵本の展示も行った。本館では、「読み聞かせ絵本リスト」に掲載されている本を、3歳以上児童対象のおはなし会「すとーりーたいむ」の場で読み聞かせを行った。令和元年度も引き続き、「子ども読書の日」、読書週間を周知し、図書館に来るきっかけ作りを検討する。
40		魅力ある図書館に向けた検討	今後の図書館の位置づけや考え方を検討する際には、児童・生徒が利用したいと感じ、興味を持つような図書館を目指して検討を行います。	図書館	児童へのアンケート実施日と実施内容と回答枚数 →【本館】(実施日)平成28年6月24日(金)～平成28年7月7日(木) (実施内容)①読みたい本について②図書館にあったら良いと思うものについて③図書館への願い事について (回答枚数)19枚	児童へのアンケート実施日と実施内容と回答枚数 →【本館・東分室・緑分室・貫井北分室】(実施日)平成29年6月16日(金)～平成29年7月7日(金) (実施内容)①読みたい本について②図書館にあったら良いと思うものについて③図書館への願い事について (回答枚数)122枚	児童へのアンケート実施日と実施内容と回答枚数 →【本館・東分室・緑分室・貫井北分室】(実施日)平成30年6月19日(火)～平成30年7月7日(土) (実施内容)①読みたい本について②図書館にあったら良いと思うものについて③図書館への願い事について (回答枚数)140枚	A	昨年度に引き続き、七夕の時期に、西之台会館図書室以外の館で、児童へアンケートを実施した。本館・緑分室では七夕の笹と短冊も合わせて展示している。回答枚数は全体的に増加したが、本館の回答数が少ないため、来年度は来館した児童に、アンケートに協力してもらえよう、積極的に声かけを行い、利用したいと感じ、興味を持つような図書館を目指して引き続き検討を行う。
41	(2) 図書等の充実	図書等の購入・寄贈・リサイクル等の活用	小学生・中学生からの要望、学校図書館との情報交換等を行い、より魅力的な図書等が充実するように努めます。	図書館	関係機関との打合せ回数 →1回(市教研との交流会)	関係機関との打合せ回数 児童へのアンケートの回答の要望の検討 学校図書館の見学回数 →(関係機関との打合せ回数)5回 (児童へのアンケートの回答の要望の検討)七夕の時期に西之台会館図書室以外の館で、児童へアンケートを実施し、読みたい本について、要望が多かった資料を購入した。貫井北分室では、YAコーナーに、ノートを置き、図書館への意見や要望、おすすめの本やCDについて、記載があったものについて、運営や選書に反映させた。 (学校図書館を市立図書館職員が見学した回数)9回	関係機関との打合せ回数 児童へのアンケートの回答の要望の検討 学校図書館の見学回数 →(関係機関との打合せ回数)10回 (児童へのアンケートの回答の要望の検討)七夕の時期に西之台会館図書室以外の館で、児童へアンケートを実施し、読みたい本について、要望が多かった資料を購入した。 (学校図書館を市立図書館職員が見学した回数)8回	A	平成30年度の回答の中で、本館では、「まんが」「歴史の本」という回答から、「学習まんが日本の歴史」「学習まんが世界の歴史」を購入した。緑分室では、おはなし会でプレゼントをもらうのに必要なスタンプの数を、5個から3個に減らすことにした。また、児童に人気の本で、予約が多いシリーズについて、閲覧用分を追加購入した。令和元年度年度も引き続き、より魅力的な図書等が充実するように努める。

No	取組	施策項目	取組内容	所管部署	平成28年度事業実績	平成29年度事業実績回答	平成30年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び令和元年度以降の方向性、課題等
42	小学生・中学生	(1) 公民館での読書活動の推進	子育て世代への支援	公民館	自主講座の実施回数 →1回	自主講座の実施回数 →1回	自主講座の実施回数 →1回	B	前年度の実績と同回数であったためB評価とした。 自主講座において読書活動推進に繋がる企画が増えるよう検討する。
43			図書に触れるきっかけ作り	公民館	関係図書の紹介冊数 →60冊	関係図書の紹介冊数 →124冊	関係図書の紹介冊数 →191冊	A	対前年度比154%であることからAとした。 今後も継続して講座を通じて本に触れるきっかけを作る。
44			関係団体との連携	公民館	企画実行委員会の読書推進講座の実施回数 →0回	企画実行委員会の会議において、子どもを対象とした講座の企画段階で、関連書籍の紹介の提案等を行った回数→3回	企画実行委員会の会議において、子どもを対象とした講座の企画段階で、関連書籍の紹介の提案等を行った回数→3回	B	前年度の実績と同回数であったためB評価とした。
45			図書館との連携	公民館	図書館との共催事業の実施回数 センターまつりなど →16回	図書館との共催事業の実施回数 センターまつりなど →13回	図書館との共催事業の実施回数 センターまつりなど →18回	A	対前年度比138%であることからAとした。 今後も図書館と連携して共催事業等を実施する。
46			リサイクル図書事業の周知	公民館	センターまつりでのリサイクル図書事業の周知等を行います。	センターまつり図書配布数 →4009冊	センターまつり図書配布数 →4,279冊	センターまつり図書配布数 →2,515冊	B
47	(2) 公民館での広報活動	情報提供の拡充	公民館	情報提供回数 →1回	情報提供回数 →1回	情報提供回数 →3回	A	対前年度比300%であることからAとした。	
48	(3) 児童館での読書活動の推進	図書に触れるきっかけ作り	児童青少年課	読み聞かせ実施回数 →33回	読み聞かせ実施回数 →31回	読み聞かせ実施回数 →31回	A	読み聞かせの開催回数を前年度並みに実施することができ、図書に触れる機会を充実することができた。今後も読み聞かせ等の図書に触れる機会の充実を努めていく。	
49	(4) 児童館・学童保育所の図書コーナーの充実	図書に触れるきっかけづくり	児童青少年課	図書冊数 →約9,685冊	図書冊数 →約9,788冊	図書冊数 →約9,884冊	A	昨年度と比較し、100冊程度増えた。書架スペースに限りがあるため、在庫状況等を見ながら書架内容について充実させる。	
50	小学生・中学生	(5) 家庭文庫や地域文庫等の読書活動への支援	関係団体への支援	図書館	おはなし会を実施しているボランティア団体の貸出回数 →23回	おはなし会を実施しているボランティア団体の貸出回数 →16回	おはなし会を実施しているボランティア団体の貸出回数 →19回	A	平成30年度も要望に応じて、おはなし会を実施しているボランティア団体への貸出を実施した。 今後も引き続き、関係団体への活動の支援を行う。
51			図書に触れるきっかけ作り	生涯学習課	読書活動事業の実施回数 →放課後子ども教室にて読書活動を83回開催	読書活動事業の実施回数 →放課後子ども教室にて読書活動を86回開催	読書活動事業の実施回数 →放課後子ども教室にて読書活動を89回開催	A	放課後子ども教室での読み聞かせ教室の開催回数を前年度並みに開催することができ、図書に触れる機会を充実することができた。今後も読み聞かせ等の図書に触れる機会の充実を努めていく。



No	取組	施策項目	取組内容	所管部署	平成28年度事業実績	平成29年度事業実績回答	平成30年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び令和元年度以降の方向性、課題等
52	YA世代	(1) 各種行事の実施	各種行事の実施	図書館	貫井北分室のYAサポーターミーティングの実施回数と参加人数→(実施回数)9回(参加人数)54人	貫井北分室のYAサポーターミーティングの実施回数と参加人数→(実施回数)6回(参加人数)42人	貫井北分室のYAサポーターミーティングの実施回数と参加人数→(実施回数)6回(参加人数)33人	B	平成30年度は、前年度に比べ参加者数は減少したが、実施回数は、前年度と同数であった。令和元年度も引き続き、サポーターの参加者を募集するとともに、参加者が増えるような魅力的な行事の開催を行う。
53		(2) 図書に触れる環境の整備	図書に触れるきっかけ作り	図書館	YA世代図書の蔵書数→2,771冊	YA世代図書の蔵書数→2,863冊	YA世代図書の蔵書数→3,066冊	S	図書館全館で、YA世代図書の蔵書数が増加したため、S評価とした。東分室では、昨年度YAコーナーを新設し、テーマを決め、図書の入れ替えを行いながら展示を行っている。平成30年度は2回、合計50冊展示した。令和元年度は図書の充実に加え、SNS等を活用し、YA世代が図書に触れる環境作りを充実させる。
54		(3) 高校との連携	高校等との情報交換	図書館	高校との情報交換実施回数→【緑分室】7回	高校との情報交換実施回数→【緑分室】2回	高校との情報交換実施回数→【本館】4回【東分室】2回	S	本館では、中高生対象の講座実施に伴い、東京電機大学高校、中央大学附属高校、都立小金井北高校、国際基督教大学高校の学校図書室司書の方と情報交換を実施した。東分室で発行している広報誌を、国際基督教大学高校図書室に置かせてもらい、図書館の活動をPRした。その際に、学校図書室司書の方と、情報交換を実施した。図書館全体として、高校生の利用が少ないため、高校と積極的に情報交換を行い、充実した関係づくりを目指す。
55	1	(1) 各学校での取組	図書の充実	指導室	特別支援学級の図書購入冊数→66冊	特別支援学級の図書購入冊数→24冊	特別支援学級の図書購入冊数→55冊	A	特別支援学級の図書購入冊数は、その年の子どもの特性や発達段階に応じて購入されるため、平成30年度は55冊のニーズとなった。令和元年度以降もニーズに合わせて購入する。
56		(2) 関係各課の支援	図書に触れる環境づくり	自立生活支援課	きらりの図書冊数→48冊	きらりの図書冊数→129冊	きらりの図書冊数→130冊	A	図書の入れ替えをしつつ、特別な支援を必要とする子どもたちが図書に触れる環境は充実している。今後の課題としては、読みたい本を整備する際、図書館で貸出図書として整備することができるものなのかそうでないものなのか、個別事案に対応可能な情報共有をし、無駄のない環境整備ができるようにしていきたい。
57		(3) 支援の必要な子どもが図書館等へ行くことへの支援	療育施設等と図書館との連携	自立生活支援課	きらりからの図書館来館回数→0回	きらりと図書館の連携回数→6回	きらりと図書館の連携回数→4回	B	平成30年度は、平成29年度よりも図書館からきらりへの訪問回数が減ったことときらりから図書館へ訪問する機会を確保できなかったため、B評価とした。令和元年度も図書館からきらりへ訪問をし、情報交換を行いながら連携を図っていく。
58	2	(1) 関係施設への情報提供	関係施設との連携	図書館	市内の特別支援学校や療育施設等の団体貸出冊数→94冊	市内の特別支援学校や療育施設等の団体貸出冊数→102冊	市内の特別支援学校や療育施設等の団体貸出冊数→48冊	B	平成30年度は、前年度に比べて特別支援学校や療育施設に対する貸出冊数は減少したが、保育園やボランティア団体など、全体的な団体貸出冊数は増加した。令和元年度も引き続き、団体貸出サービスや情報提供ができることをPRし、支援を行う。
59		(1) 特別な支援を必要とする子供の読書活動の支援	読書ができる環境への支援	図書館	図書館の福祉機器類の総数と内訳→9台 【本館】リーディングトラッカー2枚、筆談機2台、拡大レンズ1台、移動式拡大レンズ1台、拡大読書機1台、車椅子1台、コミュニケーションボード1台、老眼鏡3台 【東分室】8台(筆談ボード、老眼鏡3台、拡大鏡4台) 【緑分室】5台(拡大鏡・コミュニケーションボード・老眼鏡3台) 【貫井北分室】5台(コミュニケーションボード、老眼鏡3台、拡大鏡) 【西之台会館図書室】3台(老眼鏡3点)	図書館の福祉機器類の総数と内訳→33台 【本館】12台(リーディングトラッカー2枚、筆談機2台、拡大レンズ1台、移動式拡大レンズ1台、拡大読書機1台、車椅子1台、コミュニケーションボード1台、老眼鏡3台) 【東分室】8台(筆談ボード、老眼鏡3台、拡大鏡4台) 【緑分室】5台(拡大鏡・コミュニケーションボード・老眼鏡3台) 【貫井北分室】5台(コミュニケーションボード、老眼鏡3台、拡大鏡) 【西之台会館図書室】3台(老眼鏡3点)	図書館の福祉機器類の総数と内訳→35台 【本館】14台(リーディングトラッカー2枚、筆談機2台、拡大レンズ2台、移動式拡大レンズ1台、拡大読書機1台、車椅子1台、コミュニケーションボード2台、老眼鏡3台) 【東分室】8台(筆談ボード、老眼鏡3台、拡大鏡4台) 【緑分室】5台(拡大鏡・コミュニケーションボード・老眼鏡3台) 【貫井北分室】5台(コミュニケーションボード、老眼鏡3台、拡大鏡) 【西之台会館図書室】3台(老眼鏡3点)	A	平成30年度も昨年度同様、全館で詳細に確認をした。以前、予備として購入していたコミュニケーションボードと、拡大レンズも、カウンターへ出し、利用できるように環境を整えた。令和元年度も引き続き、本とあわせて読書に必要な福祉機器類等の購入も検討し、読書活動の支援に努める。



No	取組	施策項目	取組内容	所管部署	平成28年度事業実績	平成29年度事業実績回答	平成30年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び令和元年度以降の方向性、課題等
60	3  (2) 読書環境への配慮	安心して来られる図書館への検討	特別な支援を必要とする子どもやその保護者が、図書館に安心して来られるよう、環境の整備を検討します。	図書館	特別な支援を必要とする子ども向けの図書の冊数 →47冊【内訳】布絵本7冊、点字本39冊、LLブック1冊	特別な支援を必要とする子ども向けの図書の冊数 →81冊 【本館】49冊(布絵本7冊、ピクトグラム絵本1冊、点字絵本35冊、LLブック絵本6冊) 【東分室】25冊(布絵本6冊、点字絵本19冊) 【緑分室】4冊(点字絵本4冊) 【貫井北分室】3冊(点字絵本3冊)	特別な支援を必要とする子ども向けの図書の冊数 →91冊 【本館】52冊(布絵本7冊、ピクトグラム絵本1冊、点字絵本34冊、LLブック絵本6冊、その他さわる絵本など4冊) 【東分室】26冊(布絵本6冊、点字絵本20冊) 【緑分室】4冊(点字絵本4冊) 【貫井北分室】9冊(点字絵本9冊)	A	平成30年度は、本館、東分室、貫井北分室で特別な支援を必要とする子ども向けの図書の追加購入を行った。本館では、さわる絵本などを新しく購入した。令和元年度も引き続き、特別な支援を必要とする子どもやその保護者が、図書館に安心して来られるよう、環境の整備や、「安心して来られる図書館である」ということを周知できるよう、広報活動の充実も合わせて検討する。
		来館希望への対応	特別な支援を必要とする子どもが通う施設から図書館への来館希望がある場合には、本人への配慮と併せて他の図書館利用者へも配慮して対応等を検討します。	図書館	特別な支援を必要とする子どもが通う施設に対して、図書館内で対応した件数 →3件【本館】梅の実学級1件【緑分室】桜町病院2件	特別な支援を必要とする子どもが通う施設に対して、図書館内で対応した件数 →1件【緑分室】桜町病院1件	特別な支援を必要とする子どもが通う施設に対して、図書館内で対応した件数 →1件【緑分室】桜町病院1件	B	前年度に引き続き、緑分室が休館日に桜町病院の子どもを受け入れを行った。休館日なので、子ども達も安心して過ごすことができた。令和元年度も引き続き、特別な支援を必要とする子どもが通う施設から図書館への来館希望がある場合には、本人への配慮と併せて他の図書館利用者へも配慮して対応等を検討する。
第4章									
62	1  オリンピック・パラリンピック	オリンピック・パラリンピックに関連した読書活動	オリンピック・パラリンピック関連書籍コーナーを設置し、オリンピック・パラリンピック教育と関連付けた読書活動を充実させ、オリンピック・パラリンピック教育と関連付けた読書活動が充実していくようにします。	指導室	オリンピック等と関連した教育事業の実施校数 →市小・中学校のうち10校の図書室において、オリンピック・パラリンピックに関連する図書のコーナーを作り、児童・生徒の意識を高めた。	オリンピック等と関連した教育事業の実施校数 →市小・中学校のうち、10校の図書室において、オリンピック・パラリンピックに関連する図書のコーナーを作り、児童・生徒の意識を高めた。	オリンピック等と関連した教育事業の実施校数 →市小・中学校のうち、10校の図書室において、オリンピック・パラリンピックに関連する図書のコーナーを作り、児童・生徒の意識を高めた。	A	オリンピック等と関連した教育事業の実施校数については、計画通り、オリンピック・パラリンピックに関連する図書のコーナーを作ることができたため、A評価とした。引き続き、オリンピック等と関連した教育事業の実施を行う。
		(1) オリンピック・パラリンピック関連資料の紹介(新規)	幅広い世代の方にオリンピック・パラリンピックについて知ってもらうため、子どもにもわかりやすいオリンピック・パラリンピックの歴史、過去の開催状況などの図書の充実を目指します。	図書館	オリンピック・パラリンピック関連テーマ図書の実施日と実施回数 →(実施日)【本館】(児童室)平成28年8月9日～平成28年8月30日 (YAコーナー)平成28年8月9日～平成29年1月12日 【貫井北分室】平成28年9月20日～平成28年10月31日 (実施回数) 3回	オリンピック・パラリンピック関連テーマ図書の実施日と実施回数 →(実施日)【本館】(YAコーナー)平成29年6月26日～平成29年8月31日 (児童室)平成30年1月5日～平成30年2月25日 【東分室】平成29年9月29日～平成29年11月16日、平成30年1月21日～平成30年4月10日 【緑分室】平成30年1月20日～平成30年2月20日 【貫井北分室】平成29年10月2日～平成29年11月15日 (実施回数) 6回	オリンピック・パラリンピック関連テーマ図書の実施日と実施回数 →(実施日)【本館】(YAコーナー)平成30年9月4日～平成30年12月3日 (児童室)平成30年9月4日～平成30年10月14日 【東分室】平成30年9月2日～平成30年10月4日 【緑分室】平成30年10月3日～平成30年10月15日 (実施回数) 4回	A	平成30年度は都立図書館が主催した「都内公立図書館共通テーマ展示『東京でおもてなし』」に本館・東分室・緑分室が参加した。本館の展示では、スポーツ関係だけでなく、1964年の東京オリンピックから導入された「ピクトグラム」に関するテーマ展示を実施した。令和元年度は、引き続きテーマ展示を行うだけでなく、団体貸出パックにオリンピック・パラリンピックに関する図書を追加し、知識を深める機会の充実にも努める。